

KWC ♡ 「祝80歳ウォーク」国分寺恋の道 ♡

日時 : 2019年11月6日(水) 快晴

集合 : JR西国分寺駅 10:30

コース : 西国分寺駅→①姿見の池→②日立中央研究所庭園の側道(遊歩道)→都立殿ヶ谷戸庭園(とのがやと)(昼食)→一里塚→不動明王碑→お鷹の道→真姿の池湧水群→武蔵国分寺・仁王門・万葉植物園→薬師堂→都立武蔵国分寺公園→西国分寺駅 12,000歩 約8km (伊藤自宅含め14,000歩)

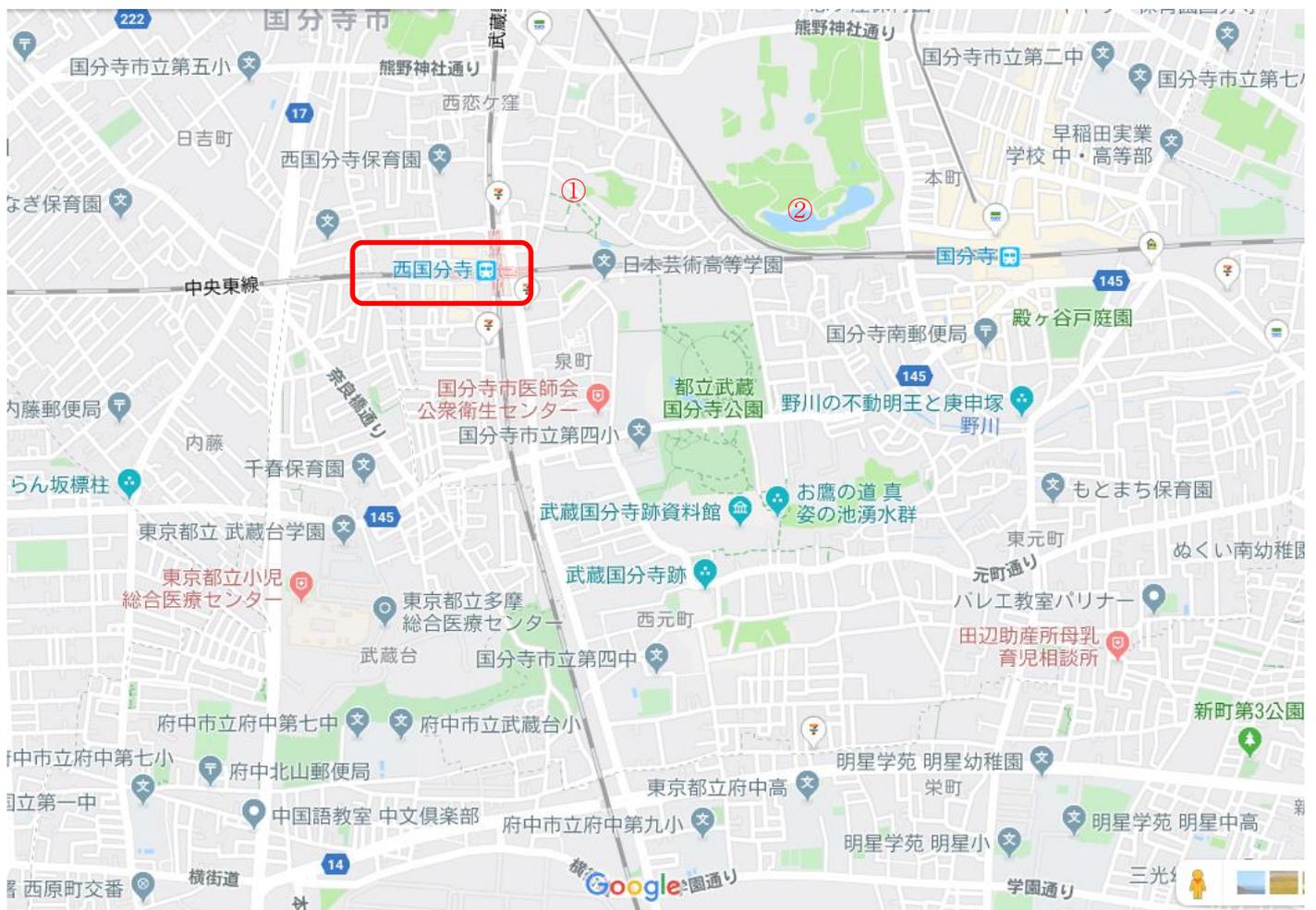
80歳 : 参加 森山慶雄 2007年12月入会・長井千代子 2012年8月入会・築地美憲 2018年1月入会
不参加 藤原和子 2010年1月入会・清水靖子 2014年7月入会

ウォーク : 森山総合ガイドL・吉越L・奥村SL 含め 合計22名

1班 : 小作班長・森山・長井・築地・勅使河原・吉越L・平嶋・神谷・大平・高橋文・伊藤真 11名

2班 : 山川班長・平山・菊池・清水正・福士・澤・奥村SL・上曾山・畠・鈴木孝・内海 11名

地図



国分寺市の歴史 : 天平13年(741)、聖武天皇は鎮護国家を祈念して、諸国に国分寺〔僧寺(金光明四天王護国之寺)と尼寺(法華滅罪之寺)〕を建立するように命じました。武蔵国では国府(現府中市)に近く、都へ通じる東山道武蔵路沿いの広大な平地と東西に連なる国分寺崖線の麓、豊かな湧水をもつ現在の西元町一帯が好所として選ばれました。国府とともに政治・文化の中心として栄えましたが、鎌倉時代末に「分倍河原の戦い」で焼失しました。武蔵国分寺跡と関連する遺跡は、東西1.5キロメートル、南北1キロメートルにおよび、諸国の国分寺跡と比べ規模が大きく、歴史的にも重要なことから大正11年に国史跡に指定されました。(HPより引用)



駅から早速小路を歩く 近くの広場で奥村さんによるストレッチ 吉越シから80歳の紹介と地図コース説明



姿見の池



西国分寺駅北東にある「姿見の池」は、不遇の女性が日々通い水面にうつる自分の姿を見ていたという鎌倉時代の伝説からその名で呼ばれるようになったと言われています。恋ヶ窪用水や湧き水が流れ込んでいた姿見の池は、鏡の代わりになるほど水が澄みきっていたそうです。死の誤報により身投げした悲恋の池という言い伝えもあり、「恋ヶ窪」という地名はその逸話によるものとも言われています。

(HPより引用)

JR中央線と広大な日立製作所中央研究所庭園（湧き水源泉）の間を歩く。自転車置場もなくなるようです。





ぐるり一周する



都立殿ヶ谷戸庭園は、国分寺崖線の南側斜面を利用し、湧水と植生を巧みに生かした回遊式林泉庭園です。公園の名称は、昔、この地が国分寺村殿ヶ谷戸という地名であったことに由来しています。もともとは大正2年（1913年）に作られた別荘で、昭和4年に三菱財閥の岩崎家の所有となり、和洋折衷の回廊式庭園となったものです。昭和49年に東京都が購入し、都立公園として有料開放されています。平成23年9月には、国指定名勝に選ばれており、また園内の「次郎弁天の池」は東京都名湧水57選にも選ばれています。庭園内では、年間を通じ様々な行事が催されており、特に「紅葉を楽しむ会」（11月下旬頃）をはじめとする、秋冬の行事が人気です。



滝の傍で集合写真失敗・・・左に滝を入れた為、右側日陰になり暗くて駄目でした ごめんなさい。



池上にある休憩小屋で早めの昼食 11:40~12:30



80歳お祝いチョコレート 参加者にも御裾分け 小屋からの池を眺める、紅葉がわずかに・・・



種類沢山のチョコレート・・・愛が一杯込められていました・・・

赤緑日傘撮影場所がありました。80歳御三方いいですね！ 来年80歳を迎える伊藤・・・頑張ります！



集合写真・・・日傘の真下の人ごめんなさい！



石橋供養塔 不動橋の北側に位置し、庚申塔は延享（1745年）に国分寺村の人々が建て、隣に天保3年（1832年）の記念銘のある石橋供養塔と、 建立年月日不明の不動明王碑があります。石橋供養塔は、常に人に踏まれている石橋を供養する意味と、石橋を渡って村内に疫病や災いが入り込むのを防ぐ意味があると伝えられています。不動明王碑は、村内に疫病や災厄が入り込むのを防ぐ意味のためと伝えられており、小さな石碑ですが、今でも花や絵馬が飾られており、信仰の対象にもなっています。（HPより引用）



お鷹の道



お鷹の道
江戸時代の寛延元年（一七四八）に国分寺市内の村々は、尾張徳川家の御鷹場に指定され、慶応三年（一八六七）に廃止されるまで、村人の生活に多くの影響を与えてきました。
崖線下の湧水を集めて野川にそそぐ清流沿いの小道は「つごころからか」お鷹の道」と呼ばれ、昭和四七〜四八年に国分寺市が遊歩道として整備しました。



真姿の池湧水群

柿の販売（伊藤も味見して買う）4ケで¥200



嘉祥元年（848年）、絶世の美女といわれた玉造小町が病気に苦しみ、病の平癒を願い全国行脚をした際に、武蔵国分寺で願をかけたところ、「池で身を清めよ」との霊示を受けて快癒したとの言い伝えがあります。現在は弁財天が祀られています。（HPより引用）



旧本多家住宅長屋門・・・邸内には赤い5重の塔有り外から失礼（入門有料） 国分寺



国分寺楼門

本堂前で集合写真（本堂を入れて）



国分寺境内にあり、前沢村（現東久留米市内）の米津寺（米津出羽守田盛によって菩提寺として創建された寺）の楼門を明治28年に移築したものです。

本堂前集合写真、人物だけアップして撮影



境内散策

守り猫？

仁王門



仁王門

使用している木材の一部は建武2年（1335）に新田義貞が再興した薬師堂の古材を使用していると伝えられ、「新編武蔵風土記稿」にもその説が紹介されています。もとは萱葺の屋根でしたが、現在は瓦葺の入母屋造になっています。門の左右には、作者不明で享保3年（1718年）に作られた阿（向かって右・口を開けている）吽（向かって左・口を閉じている）の仁王像が安置されています。

（HPより引用）

薬師堂



都立武蔵国分寺公園 広い

古式ポンプあり、湧き水が出ました。



1987年、国鉄が分割民営化される際に、国鉄の債務を返済する目的で閉鎖された中央鉄道学園の跡地を住宅と公園として整備して2002年4月1日に中央鉄道学園跡地の泉地区が開園した。2004年には中央鉄道学園跡地の南側を通る東京都道145号立川国分寺線（通称：多喜窪通り）の向かいにあった郵政省（当時）の社宅（通信住宅）跡地を整備した西元地区が開園した。109,485㎡と広い。



109,485㎡と広い。

この公園で奥村SLによるクールダウンと吉越L挨拶。歩数は西国分寺駅解散時に発表します。



噴水もある



快晴にめぐまれ、池、樹木と芝生の広い公園を気分爽快に歩きました。

綺麗な湧き水の出る傍の小径を、まだまだお若いご婦人と歩き、若い昔の恋をしのび楽しく歩きました。

80歳、まだまだ大丈夫だよ！お手本をお見せして戴きました。負けずについて行きましょう！



吉越L「お疲れ様でした。ここで解散します。歩数は12,000歩 約8kmとします」アフターに行かれる方はご案内しますので、私についてきてください。」

アフター「目利きの銀次」

森山さんと吉越さん、下見時予約されていまして。筑地さん、鈴木さんも参加されあとは小生を除き運営委員の皆さん。元運営委員の森山さんから、



会員減少対策を含め活発な意見も含め、楽しく盛り上がりました。登戸駅で更に2次会。ここでもウォーキング会員増対策会議でした。皆さん熱心です。有難うございました！

編集後記：今までの80歳記念は大山登山でした。小生は個人を含め10回位登山しており、昨年11月17日(土)80歳記念大山登山で下山中左脚を痛めウォーキングも約2ヶ月休んでいました。今年は祝80歳ウォーク「国分寺恋の道」公園池のある平坦地歩き。10月まで台風と豪雨。ガラリと変わり久ぶりの好天に恵まれ、満80歳になられ森山さん自らゆったりコースを設定ガイドされた公園歩きの最高のウォーキングでした。小生個人的にも体験済のコースでしたが、池と緑の樹木木陰があり、我々高齢者に適した良いコースでした。コースとアフター下見を含め改めて厚くお礼申し上げます。好天でしたが集合写真景色を優先し木陰の人確認せず、シャッターを押してしまい日陰になり申し訳ありませんでした。いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述がるかもしれませんが、悪しからず許しの程。説明文はHP他から引用しました。

空白番外編： 滝雲雲海 6:13 奥只見湖紅葉 10:00 2019年10月30日(水)



遊覧船からの写真です。初体験、最高でした。標高約1,000m、江戸時代から銀鉱山で栄えた。1962年奥只見ダムが完成し、この時の工事用道路を奥只見シルバーライン一般道として開放。14のトンネル有る。 P 8